

予期せぬ試練を乗り越えた!

1-3小原海月、10日間のアメリカ留学大冒険!

グロ探通信

12号

★編集★
グロ探通信班



YAMADA_GLOBAL

ラーゴ留学の様子はインスタのハイライトからも見られます



行きの飛行機の中で1枚★

去る2月1日〜10日までの10日間、山田高校からアメリカにある姉妹校「ラーゴ高校」へ、6年ぶりとなる短期留学が行われました。今回のグロ探通信では、短期留学に参加した**小原海月さん(1-3H)**による留学レポートをお届けします!

「そもそも、どうして短期留学に参加しようと思ったの?」
小原海月(以下「海」)「英語の勉強をするのが嫌! つて思うくらい英語が苦手だったけど、大学に行くためには英語が必要だし、苦手なものから目をそむけてはいけないと思って。少しでも英語を好きになるきっかけを作れたらいいな、と思って参加しました。」

「出発前、不安だったことは?」
海「自分の英語力で会話が成り立つのか、10日間生き残れるか、パスポートをなくさないか...(切実)」

「ホストファミリーはどんな人だった?」
海「みんな仲良しで、笑顔あふれる家族でした。お父さんが、奥さんのことが大好きで、喧嘩をしたことがないらしいです。10歳の娘さん(イザベラ)が、妹みたいで可愛かった!」

「ファミリーとの思い出は?」
海「最後の3日で、オーランド旅行に連れて行ってもらったこと! ラーゴとは違う街並みに刺激を受けました。ウォーターズライダーが日本とは比べ物にならないほどデカかったです。絶叫系は苦手だったけど、イザベラにお願いされて乗ったところ、とても楽しかったので、いい思い出になりました!」

「ラーゴ高校での思い出は?」
海「体調不良やオーランド旅行で、実質1日しか行けなかったんですけども、1日でもみんなが写真撮ろうって言うてくれたり、お昼を食べたりしてくれて楽しかったです。授業はすべて英語で、わからないことの方が多かったですけど、日本とアメリカの教育の仕方の違いが体験できました!」

「困ったことはなかった?」
海「高校が広すぎて、教室までの経路を全く覚えられなかったことは困りました。もし1人だったら、絶対に迷子になってましたね!」



海月さん(右下)と小景さん(左下)とホストファミリー

「短期留学前後で、自分の中で変わったところはある?」
海「英語に対する気持ちです。この10日間、翻訳機を使わない日はなかったんですが、使うたびに(自分の言葉で話せたら...)という歯がゆさを感じていました。英語を好きになるきっかけが作れたらと思って参加しましたが、参加後は英語をもっと話せるようになりました!」

「短期留学、行ってよかった?」
海「答えは一つ、行ってよかったです! 行く前は、家族もいない、言葉も伝わらない異国でどうしようかという不安の方が強かったけど、実際行ってみると、ちゃんと

した言葉は伝わらなくても、表情やジェスチャーで言いたいことはしつかり伝わりました。そして、自分の話す英語が実際に相手に伝わったときの嬉しさは、忘れることはありません。行こうかどうしようか迷っていたときに背中を押してくれた母、中村先生、和田先生には、感謝しかありません。親元を離れた異国での10日間は、私にとって大冒険でした!」

「すごい話です(涙)では最後に、海月さんの「短期留学★勝手にバスト3」を教えてください。」
海「では、私が感じた日本とアメリカの違いバスト3を発表します!」

第3位 日本でいうハト感覚でリスがいる!

第2位 授業中にお菓子やご飯を食べちゃう(先生も!)
 第1位 4日連続ハンバーガー!

ジャンクフード最高! と思っていたのに、まさかの食事が合わないという試練発生。お味噌汁なども持つて行ってなくて、異国の地で体調不良でダウンしました(笑)

海月さん、貴重な体験を共有してくれてありがとうございます。聞いているだけでワクワクして、じんとききました。さて、次回のラーゴレポは誰かな? お楽しみに!